

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
22002	X-31-B-1-220021	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
情報とコンピューティング	宇田 隆幸			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	1年	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	1年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

#### 授業目的

ICTの急激な発展・普及に伴い、ICTを活用して様々な情報が扱えるようになった。このような背景から、経済活動や情報発信はもとより、日常生活においてもICTが利用されている。したがって、ICT関連の知識を習得することの重要性が増している。本講義の目的は、ICT社会を生きぬくために必須となるICTの基礎的知識を修得することにある。そこで、コンピュータの基本構成から情報社会におけるコンピュータの活用事例までを概括し、ICT全般に関する基礎的知識を学修する。特に、IPAの実施する基本情報技術者試験の試験範囲も学修範囲とする。

#### 各回の授業内容

##### 第1回

【授】コンピュータとは  
【前・後】復習に4時間。事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第2回

【授】デジタルとアナログ  
【前・後】予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第3回

【授】情報理論  
【前・後】予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第4回

【授】論理回路  
【前・後】予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第5回

【授】コンピュータアーキテクチャ  
【前・後】予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第6回

【授】オペレーティングシステム  
【前・後】予習・復習に4時間。事前学習・事後学習として教科書および配布資料を精読し不明点を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第7回

【授】ソフトウェア開発とプログラミング  
【前・後】予習・復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第8回

【授】アルゴリズムとデータ構造  
【前・後】予習・復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第9回

【授】コンピュータネットワーク  
【前・後】予習・復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第10回

【授】インターネット  
【前・後】予習・復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第11回

【授】セキュリティ  
【前・後】予習・復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第12回

【授】データベース  
【前・後】予習・復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第13回

【授】サービスマネージメント  
【前・後】予習・復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第14回

【授】情報通信システムの法制度と標準化  
【前・後】予習・復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第15回

【授】情報サービスの発展  
【前・後】予習・復習に4時間。事後学習として配布資料を精読し不明な用語を調べる。事後学習としてレポート課題に解答して、次回講義時に提出すること。

##### 第16回

【授】期末試験

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

期末試験は各講義に沿った問題を数題出題し、全問の解答を求める。成績は期末試験結果(80%)と講義途中の提出レポート(20%)で評価する。課題の解法および参考解答を講義時に説明する。最終課題および期末試験については、参考解答をCampusmateに掲出する。

#### 教科書参考書

白鳥則朗, "コンピュータ概論 (未来へつなぐデジタルシリーズ(17))", ISBN 978-4-320-12317-5, 共立出版(2013.1). 参考書・参考文献は、講義中に紹介する。

#### 受講に当たっての留意事項

教科書を精読し、分からない用語を整理すること。毎回の講義で課すレポートの全問に解答すること。そのままでは理解できない。

#### 学習到達目標

- ・コンピュータ社会で生きぬくために必須となるコンピュータ技術の基礎的知識を習得できる。(期末試験とレポート50%)
- ・コンピュータの基本構成から情報社会におけるコンピュータの活用事例を習得できる。(期末試験とレポート25%)
- ・ICT全般に関する基礎的知識を習得できる。(期末試験とレポート25%)

JABEE

関連する学習・教育到達目標: G, J

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習